

報道関係者各位

株式会社 BCN
〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-12-5 内山ビル
TEL: 03-3254-7801 FAX: 03-3254-7802

本件に関するお問い合わせは下記にお願いします
BCN AWARD 2020 実行委員会
E-MAIL: bcn_award@bcn.co.jp

デジタル家電やパソコンなどの年間販売数 No.1 メーカー決まる ——「BCN AWARD 2020」受賞社発表 ～あわせて「BCN IT ジュニア賞 2020」受賞者を発表～

株式会社 BCN(本社:東京都千代田区、奥田喜久男 会長兼社長)は1月15日、「BCN AWARD 2020」の受賞社を発表した。全国の主要家電量販店やカメラ量販店、パソコン専門店、ネットショップなどの実売データをもとに、デジタル家電やパソコン関連製品の販売数を集計し、部門別に2019年の年間販売数 No.1 メーカーを表彰するもの。21回目を迎える今回は、117部門で60社が受賞した。あわせて、ITに取り組む若者を対象としたコンテストで優秀な成績を収めた個人やチームを表彰する「BCN IT ジュニア賞 2020」の受賞者も発表した。

【初受賞や新設部門など、受賞社の主な顔ぶれ】

デジタル家電やパソコン、それら関連製品とソフトウェアの部門別販売数年間 No.1 メーカーを決める BCN AWARD。今回は、ハードウェアが85部門で42社、ソフトウェアが32部門で18社、計117部門で60社が受賞した。

今回の初受賞は6社。「VR・AR ゴーグル部門」で Facebook Technologies、「ベアボーン部門」で ASRock、「グラフィックボード部門」でエムエスアイコンピュータージャパン、「AV アンプ部門」でディーアンドエムホールディングス、「ヘッドホン・イヤホン (ワイヤレス) 部門」でソニー、「教育・学習ソフト部門」でロゴヴィスタがそれぞれ初めて受賞した。

また、今回 No.1 を奪還した主なメーカーは次の通り。「SSD 部門」でマイクロンジャパンが8年ぶり、「メモ리카ード部門」でサンディスクが5年ぶり、「複合プリンタ部門」でキヤノンが3年ぶり、「グラフィックソフト部門」でアドビシステムズが2年ぶり、「クリップアートソフト部門」でソースネクストが2年ぶりに No.1 を奪還した。(そのほかの各部門、受賞社は「BCN AWARD 2020 受賞社一覧」をご参照ください)

【21年連続受賞】

BCN AWARD の創設以来21年連続で BCN AWARD を受賞したメーカーは次の通り (7社12部門)。

- ・クリエイティブメディア「サウンド関連ボード部門」
- ・バッファロー「LAN カード部門」
- ・ワコム「ペンタブレット部門」
- ・日本マイクロソフト「OS 部門」「統合ソフト部門」「データベースソフト部門」「表計算・グラフソフト部門」「プレゼンテーションソフト部門」
- ・ジャストシステム「ワープロ・エディタソフト部門」「FEP ソフト部門」
- ・弥生「業務ソフト部門」
- ・ソースネクスト「葉書・毛筆ソフト部門」

【「BCN IT ジュニア賞 2020 表彰式／BCN AWARD 2020・BCN IT ジュニア賞 2020 祝賀会」開催概要】

「BCN IT ジュニア賞 2020 表彰式／BCN AWARD 2020・BCN IT ジュニア賞 2020 祝賀会」を以下の通り開催します。メディア各社様の取材も可能ですので、ぜひおいでいただきますようご案内いたします。

開催日時：2020年1月24日（金）14：20～17：00（開場14：00）

開催場所：品川インターシティ ホール棟1階ホール（東京都港区港南2-15-4）

※なお「BCN IT ジュニア賞 2020 表彰式／BCN AWARD 2020・BCN IT ジュニア賞 2020 祝賀会」の様子はYouTubeでリアルタイム配信いたします。どうぞご覧ください。

YouTube：<https://www.youtube.com/watch?v=xuOzt5Zks6c>

<BCN AWARD とは>

「BCN AWARD」は、全国の主要な家電量販店、パソコン専門店、ネットショップの実売データを集計するBCNが、そのデータをもとに年間（1月1日～12月31日）販売数累計第1位のメーカーを表彰する制度です。「BCN AWARD 2020」の集計対象は、24社／2,659店舗（※）。受賞社の決定にあたっては、5名の有識者からなる認証委員会を設置し、委員会の認証を経る公正な評価システムを導入しています。

※集計対象社は、当社と販売店との間でデータ提供契約を締結している法人数をカウントしています。また、店舗数は新規出店/統廃合などにより若干変動いたします。

<実売データ提供販売店>

アベルネット、アマゾン ジャパン、エディオン、NTT レゾナント、ケースホールディングス、コジマ、サードウェーブ、サンキュー、上新電機、スタート、ストリーム、ソフマップ、ZOA、ナニワ商会、ビックカメラ、ピーシーデポコーポレーション、Project White、ベスト電器、三星カメラ、ムラウチドットコム、MOA、ユニットコム、ラオックス、楽天（楽天ブックス）（50音順）

<後援>

大手家電流通協会
一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会
一般社団法人 コンピュータソフトウェア著作権協会
一般社団法人 電子情報技術産業協会
一般社団法人 日本コンピュータシステム販売店協会
公益財団法人 日本生産性本部

<協力>

日本事務器株式会社

BCN AWARD 2020 受賞社一覧

<ハードウェア部門 85部門 42社>

部門名	受賞社	受賞回数
デスクトップPC部門	富士通クライアントコンピューティング株式会社	3年連続5回目
ノートPC部門	NECパーソナルコンピュータ株式会社	9年連続13回目
タブレット端末部門	Apple Inc.	9年連続9回目
タブレット端末アクセサリ部門	エレコム株式会社	9年連続9回目
液晶ディスプレイ部門	株式会社アイ・オー・データ機器	4年連続5回目
VR・ARゴーグル部門	Facebook Technologies, LLC	初受賞
インクジェットプリンタ部門	キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社	10回目
ページプリンタ部門	キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社	2年連続15回目
サーマルプリンタ部門	キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社	15年連続15回目
複合プリンタ部門	キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社	6回目
フォトプリンタ部門	キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社	6年連続7回目
外付けハードディスクドライブ部門	株式会社バッファロー	12年連続17回目
ハードディスクドライブ内蔵部門	ウエスタンデジタルジャパン株式会社	6年連続6回目
NAS部門	株式会社バッファロー	7年連続7回目
記録型DVDドライブ部門	株式会社アイ・オー・データ機器	3年連続9回目
SSD部門	マイクロンジャパン株式会社	2回目
メモリ部門	シー・エフ・デー販売株式会社	9年連続9回目
マザーボード部門	ASUS JAPAN株式会社	15年連続17回目
メモリカード部門	サンディスク株式会社	7回目
USB部門	エレコム株式会社	4年連続19回目
カードリーダー部門	エレコム株式会社	10年連続11回目
拡張インターフェース部門	シー・エフ・デー販売株式会社	11年連続11回目
USBメモリ部門	エレコム株式会社	8年連続8回目
KVM切替器部門	エレコム株式会社	6年連続8回目
PCケース部門	Thermaltake Technology Co., Ltd. / 株式会社アスク	2年連続2回目
ベアボーン部門	ASRock Incorporation	初受賞
PC電源部門	シー・エフ・デー販売株式会社	9年連続9回目
ドライブケース部門	シー・エフ・デー販売株式会社	10年連続12回目
ワイヤードスピーカー部門	サンワサプライ株式会社	2年連続2回目
ワイヤレススピーカー部門	ハーマンインターナショナル株式会社	2年連続2回目
DTM関連機器部門	株式会社コルグ	9年連続9回目
映像関連ボード部門	グーグル合同会社	6年連続6回目
サウンド関連ボード部門	クリエイティブメディア株式会社	21年連続21回目
グラフィックボード部門	エムエスアイコンピュータージャパン株式会社	初受賞
ホームシアターシステム部門	ソニー株式会社／ソニーマーケティング株式会社	6回目
スピーカーシステム部門	ヤマハ株式会社／株式会社ヤマハミュージックジャパン	3年連続3回目
AVアンプ部門	株式会社ディーアンドエムホールディングス	初受賞
ヘッドホン・イヤホン(ワイヤレス)部門	ソニー株式会社／ソニーマーケティング株式会社	初受賞
ヘッドホン・イヤホン(ワイヤード)部門	株式会社オーディオテクニカ	11年連続11回目
携帯オーディオ部門	ソニー株式会社／ソニーマーケティング株式会社	9年連続9回目
携帯オーディオアクセサリ部門	エレコム株式会社	13年連続13回目
ICレコーダー部門	オリンパス株式会社	5年連続13回目
電子ピアノ部門	ヤマハ株式会社／株式会社ヤマハミュージックジャパン	4回目
LANカード部門	株式会社バッファロー	21年連続21回目
HUB部門	株式会社バッファロー	19年連続20回目
ルータ部門	株式会社バッファロー	17年連続18回目
無線LAN部門	株式会社バッファロー	18年連続18回目
PLC部門	株式会社アイ・オー・データ機器	4年連続4回目
UPS部門	シュナイダーエレクトリック株式会社	5年連続11回目

部門名	受賞社	受賞回数
スキャナ部門	株式会社PFU	10年連続10回目
デジタルカメラ(レンズ一体型)部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	15回目
デジタルカメラ(一眼レフ)部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	12年連続14回目
デジタルカメラ(ミラーレス一眼)部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	2年連続2回目
デジタルビデオカメラ部門	パナソニック株式会社/パナソニック コンシューマーマーケティング株式会社	5年連続5回目
アクションカメラ部門	GoPro, Inc.	5年連続5回目
デジタルフォトフレーム部門	恵安株式会社	3年連続3回目
交換レンズ部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	11年連続11回目
三脚・一脚部門	ベルボン株式会社	3回目
カメラケース・バッグ部門	ハクバ写真産業株式会社	4年連続4回目
PCカメラ部門	株式会社ロジクール	7年連続12回目
マウス部門	エレコム株式会社	20年連続20回目
キーボード部門	株式会社ロジクール	8年連続8回目
ゲームコントローラ部門	エレコム株式会社	2年連続14回目
10キーボード部門	エレコム株式会社	4年連続14回目
ペンタブレット部門	株式会社ワコム	21年連続21回目
スマートフォン部門	Apple Inc.	9年連続9回目
SIMフリーススマートフォン部門	華為技術日本株式会社(ファーウェイ・ジャパン)	3年連続3年目
スマートフォンケース部門	エレコム株式会社	7年連続7回目
スマートフォン保護シート部門	エレコム株式会社	4年連続4回目
モバイルバッテリー・充電器部門	エレコム株式会社	6年連続6回目
電子辞書部門	カシオ計算機株式会社	15年連続15回目
電子文具部門	株式会社キングジム	7年連続7回目
CDメディア部門	マクセル株式会社	4年連続9回目
DVDメディア部門	マクセル株式会社	4年連続10回目
BDメディア部門	マクセル株式会社	3年連続3回目
液晶テレビ(4K未満)部門	シャープ株式会社/シャープマーケティングジャパン株式会社	16年連続16回目
液晶テレビ(4K以上)部門	シャープ株式会社/シャープマーケティングジャパン株式会社	3年連続4回目
有機ELテレビ部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	3年連続3回目
デジタルチューナー部門	株式会社アイ・オー・データ機器	4年連続7回目
BD・DVDレコーダー部門	パナソニック株式会社/パナソニック コンシューマーマーケティング株式会社	9年連続11回目
BD・DVDプレーヤー部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	5年連続11回目
プロジェクター部門	セイコーエプソン株式会社/エプソン販売株式会社	16年連続16回目
PND部門	パナソニック株式会社/パナソニック コンシューマーマーケティング株式会社	3年連続5回目
ドライブレコーダー部門	株式会社コムテック	3年連続3回目
LED電球・蛍光灯部門	パナソニック株式会社/パナソニック コンシューマーマーケティング株式会社	6回目

＜ソフトウェア部門 32部門 18社＞

部門名	受賞社	受賞回数
OS部門	日本マイクロソフト株式会社	21年連続21回目
統合ソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	21年連続21回目
ワープロ・エディタソフト部門	株式会社ジャストシステム	21年連続21回目
FEPソフト部門	株式会社ジャストシステム	21年連続21回目
文書管理ソフト部門	ソースネクスト株式会社	17年連続17回目
データベースソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	21年連続21回目
表計算・グラフソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	21年連続21回目
データ管理ソフト部門	株式会社デネット	4年連続4回目
MAP・ナビソフト部門	株式会社昭文社	7年連続7回目
セキュリティソフト部門	トレンドマイクロ株式会社	12年連続12回目
プレゼンテーションソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	21年連続21回目
グラフィックスソフト部門	アドビシステムズ株式会社	16回目
ビデオ関連ソフト部門	サイバーリンク株式会社	5年連続7回目
画像処理ソフト部門	アドビシステムズ株式会社	18年連続18回目
サウンド関連ソフト部門	クリプトン・フューチャー・メディア株式会社	13年連続13回目
LAN・インターネットソフト部門	株式会社ジャストシステム	12年連続12回目
業務ソフト部門	弥生株式会社	21年連続21回目
通信ソフト部門	株式会社インターコム	20年連続20回目
CADソフト部門	エーアンドエー株式会社	4年連続4回目
申告ソフト部門	弥生株式会社	16年連続16回目
システムメンテナンスソフト部門	AOSデータ株式会社	11年連続11回目
ユーティリティソフト部門	株式会社AHS	3年連続3回目
携帯電話ソフト部門	ソースネクスト株式会社	8年連続18回目
教育・学習ソフト部門	ロゴヴィスタ株式会社	初受賞
トレーニングソフト部門	ソースネクスト株式会社	19年連続20回目
テンプレートソフト部門	株式会社デネット	6年連続6回目
フォントソフト部門	株式会社モリサワ	5年連続5回目
クリップアートソフト部門	ソースネクスト株式会社	2回目
葉書・毛筆ソフト部門	ソースネクスト株式会社	21年連続21回目
ホームソフト部門	サンテック株式会社	11年連続11回目
DTPソフト部門	ソースネクスト株式会社	11年連続11回目
PCゲームソフト部門	株式会社スクウェア・エニックス	3年連続6回目

< BCN IT ジュニア賞 2020 >

株式会社 BCN は、技術立国日本の次代を担う若い世代にもものづくりの情熱を伝え、IT 産業に一人でも多くの優秀な人材を迎えるために、2006 年に「BCN IT ジュニア賞」を創設。今回で 15 回目を迎える。

「BCN IT ジュニア賞」は、IT に取り組む若者を対象としたコンテストで優秀な成績を収めるなど、すぐれた技術をもつ IT ジュニアの学生を表彰する制度。今年も、高等専門学校生徒が参加する「全国高等専門学校プログラミングコンテスト」、工業高校生を対象とした「高校生ものづくりコンテスト全国大会」「全国高校生プログラミングコンテスト」、全国の 22 歳以下を対象とする「U-22 プログラミング・コンテスト」、若年者のものづくり技能を競う「若年者ものづくり競技大会」の入賞者から、すぐれた技術をもつ 4 チームと個人 5 名を選出、「BCN AWARD」表彰式の会場で表彰する。さらに、16 歳以下を対象とする「U-16 プログラミングコンテスト」の優勝者を表彰する「BCN IT ジュニア U-16 賞」は、これまでの「北海道大会」「愛媛大会」「三重大会」「長野大会」「山梨大会」「和歌山大会」に加え、昨年スタートした「愛知大会」「福岡大会」の優勝者も加えた 8 名を表彰する。「BCN IT ジュニア賞」によって、若者たちのものづくりに取り組む情熱がさらに燃え上がることを期待する。

< 「BCN IT ジュニア賞 2020」受賞チーム・受賞者 >

- ・「: : : doc 自動点字相互翻訳システム」制作チーム（国立東京工業高等専門学校）
- ・「Gulliver Blocks VR で新しい創造体験を」制作チーム（国立東京工業高等専門学校）
- ・「独立行政法人国立高等専門学校機構東京工業高等専門学校」チーム（国立東京工業高等専門学校）
- ・山梨県立都留興譲館高等学校 チーム KDR
- ・上原 直人（開成中学校）
- ・眞部 智也（ECC コンピュータ専門学校）
- ・大門 巧（東海大学）
- ・富田 晴生（Hope International Academy Okinawa）
- ・川島 大和（富山県立砺波工業高校）

< 「BCN IT ジュニア U-16 賞 2020」受賞者 >

- 妻沼 朔寿（旭川市立愛宕中学校）
- 山田 実和（松山市立生石小学校）
- 井村 風海大（皇學館中学校）
- 塚田 晃仁（長野市立篠ノ井西中学校）
- 吉川 栞（山梨英和中学校）
- 竹田 悠夏（上富田町立上富田中学校）
- 佐藤 還太（豊田市立童子山小学校）
- 高橋 直生（久留米市立櫛原中学校）

本件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

BCN AWARD 2020 実行委員会 TEL:03-3254-7801 E-MAIL:bcn_award@bcn.co.jp